

広島中央環境衛生組合のインフラ長寿命化計画 【公共施設等総合管理計画】（行動計画）

（令和3年度～令和12年度）



令和4年2月
広島中央環境衛生組合

目 次

1	背景	P 3
2	計画の目的・位置付け等	P 3
	（1）計画の目的	
	（2）計画の位置付け	
3	対象施設	P 4
4	計画の期間	P 4
5	人口の将来の見通し	P 4
6	財政の状況	P 5-6
7	対象施設の現状と課題	P 7-8
	（1）施設の現状	
	（2）有形固定資産減価償却率の推移	
	（3）施設の課題	
8	中長期的な公共施設等の管理に関する基本方針	P 8-10
	（1）公共施設等の統廃合	
	（2）起債償還見込み	
	（3）公共施設等の維持管理・更新に係る中長期的な経費の見込み	
	（4）公共施設等の管理に関する実施計画	
	①点検診断等の実施方針	
	②長寿命化の実施方針	
9	計画の推進方法	P 10-11
	（1）総合的かつ計画的な管理を実現するための体制の構築方針	
	（2）フォローアップの実施方針	

1 背景

公共施設等について、その老朽化対策は全国的に大きな課題となっており、地方公共団体においては、中長期的な視点をもって公共施設等の長寿命化・更新などを計画的に行うことにより、財政的負担を軽減・平準化することが必要となっています。

国においては、戦略的な維持管理・更新等の方向性を示す基本的な計画として、平成 25 年 11 月に「インフラ長寿命化基本計画」を策定しています。これを受け、平成 26 年 4 月には、総務省より地方公共団体に「公共施設等総合管理計画の策定」が要請されています。

本組合は、地方公共団体の中の特別地方公共団体に属し、東広島市・竹原市・大崎上島町（以下「構成市町」という。）で組織された一部事務組合で、「一般廃棄物処理施設整備基本構想」（平成 20 年 6 月策定）の実現に向け、一般廃棄物処理施設の設置、管理及び運営を共同で行っています。

本組合においても、所有している施設の老朽化対策は、全国同様に大きな課題となっており、所有施設を総合的に管理することが求められています。

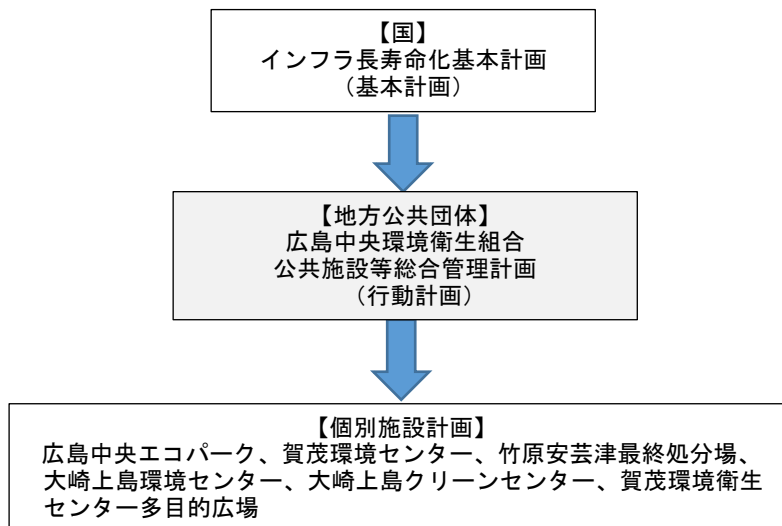
2 計画の目的・位置付け等

(1) 計画の目的

本計画は、所有施設を総合的かつ経営的に管理することで、施設の長寿命化と維持管理コスト低減に資するものであり、将来にわたり、住民に対する行政サービスの維持向上を図っていくことを目的とします。

(2) 計画の位置付け

本組合が管理運営するインフラに関し、維持管理、更新等を着実に推進するため、本計画を策定し、インフラの長寿命化に向けた基本的な取組みを推進し、今後の中長期的な方向性を示すものです。



3 対象施設

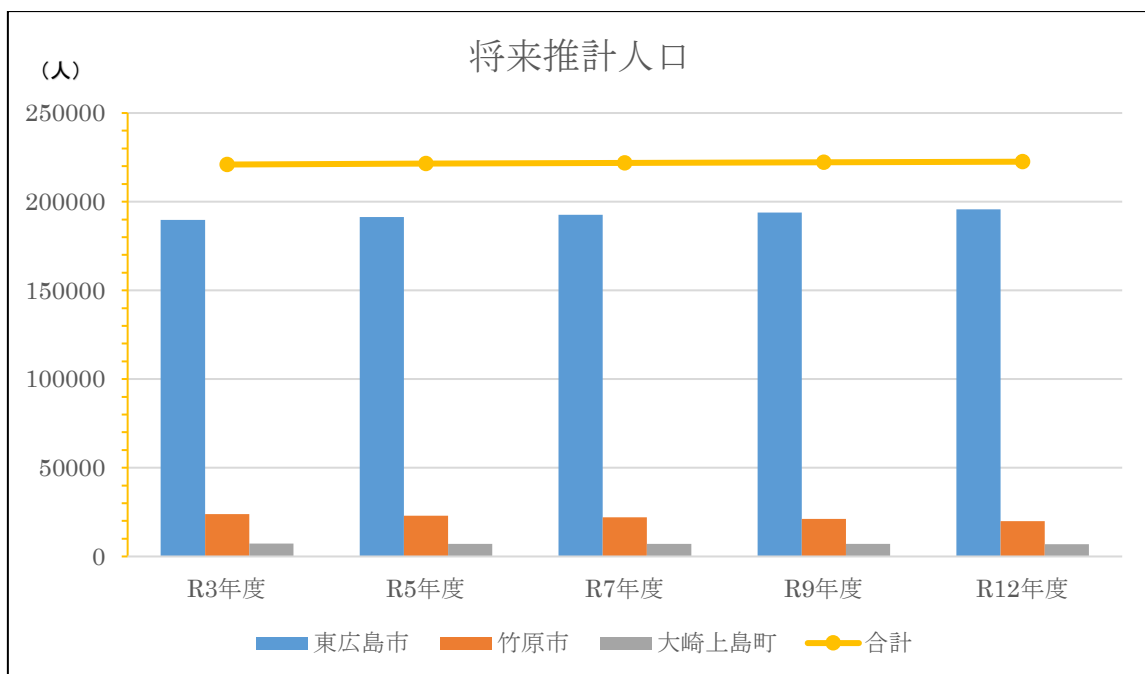
本計画において対象とする施設は、本組合が所有又は管理するすべての施設とします。

4 計画の期間

計画期間は令和3年度から令和12年度までの10年間とします。

5 人口の将来の見通し

構成市町の総人口は、令和3年度は約22.0万人で、令和12年は約22.2万人と増加すると推計されます。



(単位：人)

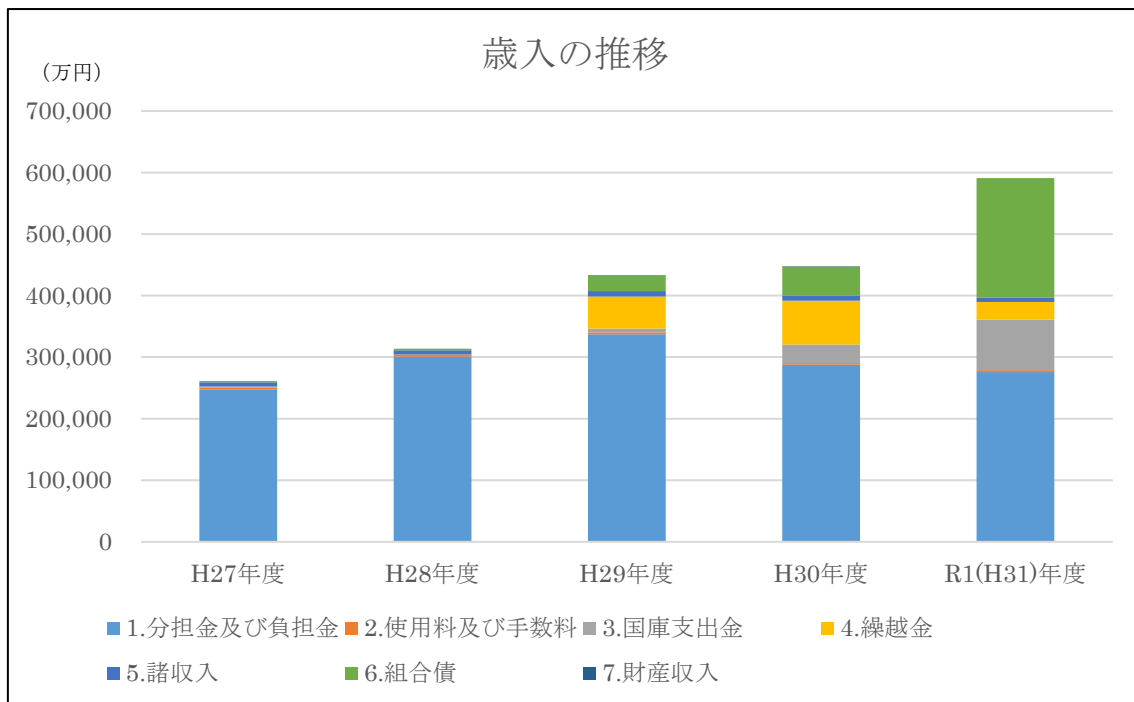
	R3年度	R5年度	R7年度	R9年度	R12年度
東広島市	189,789	191,295	192,682	193,957	195,677
竹原市	23,932	22,971	22,049	21,163	19,902
大崎上島町	7,231	7,151	7,088	7,036	6,972
合計	220,952	221,417	221,819	222,156	222,551

資料：広島中央地域 循環型社会形成推進地域計画【第3次】(令和3(2021)年3月31日)

6 財政の状況

(1) 歳入

歳入の状況を見ると、令和元（2019）年度の歳入総額は約59億1,146万円であり、構成市町からの負担金が約27億5,762万円（46.7%）と全体の半数近くを占めています。平成29年度からは国庫支出金及び組合債が増加しているものの、令和3年度の新施設建設事業完了後は減少する見込みです。



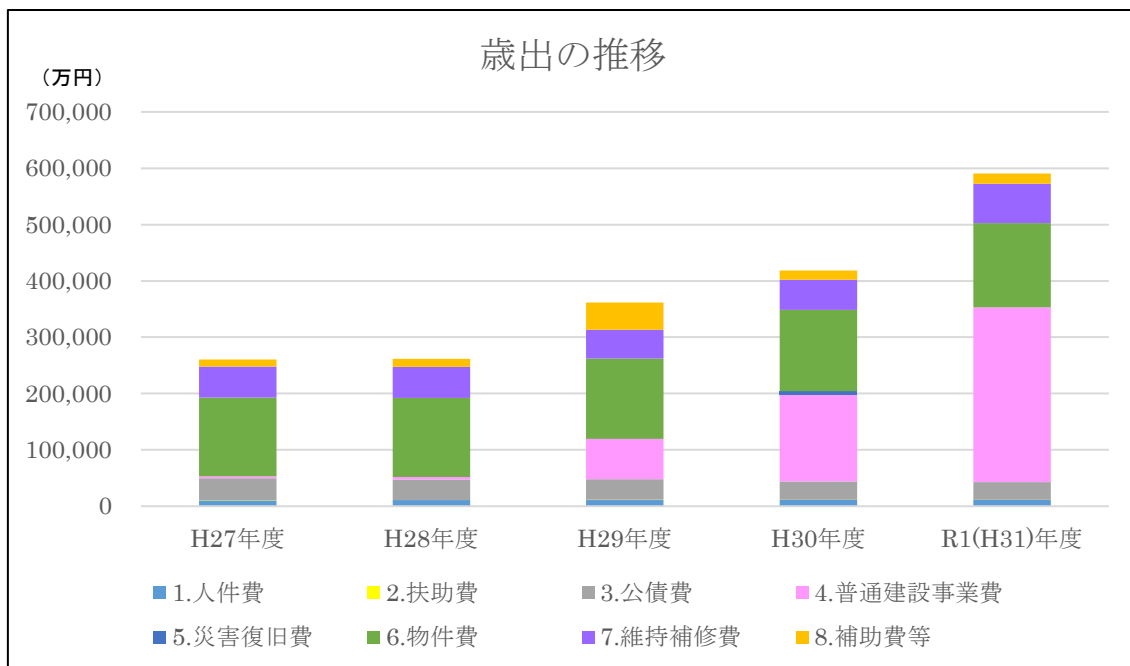
(単位：万円、%)

	H27年度		H28年度		H29年度		H30年度		R1(H31)年度	
1. 分担金及び負担金	247,829	95.1	300,589	95.8	337,081	77.8	287,516	64.3	275,762	46.7
2. 使用料及び手数料	3,148	1.2	3,057	1.0	3,048	0.7	3,042	0.7	3,148	0.5
3. 国庫支出金	1,499	0.6	764	0.2	6,600	1.5	30,083	6.7	82,284	13.9
4. 繰越金	0	0.0	96	0.1	51,974	12.0	71,331	16.0	28,627	4.8
5. 諸収入	6,778	2.6	6,606	2.1	8,684	2.0	8,144	1.8	6,385	1.1
6. 組合債	1,410	0.5	2,510	0.8	25,840	6.0	47,130	10.5	194,940	33.0
7. 財産収入	8	0.0	0	0.0	0	0.0	7	0.0	0	0.0
合計	260,672	100.0	313,622	100.0	433,227	100.0	447,253	100.0	591,146	100.0

資料：広島中央環境衛生組合決算書（平成27年度～令和元年度）

(2) 歳出

歳出の状況をみると、令和元（2019）年度の歳出総額は約59億860万円であり、物件費、維持補修費で約21億9,416万円、全体の37.1%、新施設整備事業による普通建設事業費が約31億365万円、全体の52.5%となっています。



資料：広島中央環境衛生組合決算書（平成27年度～令和元年度）

(単位：万円、%)

	H27年度		H28年度		H29年度		H30年度		R1(H31)年度	
1. 人件費	10,655	4.1	10,918	4.1	11,297	3.1	11,550	2.7	11,726	2.0
2. 扶助費	130	0.1	137	0.1	140	0.1	152	0.0	156	0.0
3. 公債費	38,824	14.9	36,366	13.9	36,728	10.1	32,481	7.8	31,059	5.3
4. 普通建設事業費	3,394	1.3	4,322	1.7	71,380	19.7	153,678	36.7	310,365	52.5
5. 災害復旧費	0	0.0	0	0.0	0	0.0	6,134	1.5	0	0.0
6. 物件費	139,734	53.6	140,637	53.7	142,565	39.4	144,470	34.5	149,486	25.3
7. 維持補修費	55,294	21.2	54,824	21.0	50,954	14.1	53,625	12.8	69,930	11.8
8. 補助費等	12,547	4.8	14,444	5.5	48,834	13.5	16,538	4.0	18,138	3.1
合計	260,578	100.0	261,648	100.0	361,898	100.0	418,628	100.0	590,860	100.0

資料：広島中央環境衛生組合決算書（平成27年度～令和元年度）

7 対象施設の現状と課題

(1) 施設の現状

区分	名称	処理能力	竣工年	位置	構造	延べ床面積 (㎡)
ごみ 処理 施設	広島中央エコパーク	285 t/日	R3.9	東広島市西条町上三永10759番地2	RC, SRC, S, W	16,043.69
	賀茂環境衛生センター	300 t/日	S60.9 H13.3(増設)	東広島市西条町上三永10766番地1	RC	12,307.84※
	竹原安芸津環境センター	105 t/日	H3.3	竹原市吉名町2654番地	RC	2,932.46
	大崎上島環境センター (焼却施設)	15 t/日	H3.3	豊田郡大崎上島町大串19番地1	RC	1,193.20
	大崎上島環境センター (中継施設)	9 t/日	R3.9	豊田郡大崎上島町大串19番地1	S	1,655.10
	大崎上島環境センター (ストックヤード)	3 t/日	R6.3(予定)	豊田郡大崎上島町大串19番地1	S	-
	賀茂環境センター (もやせない粗大・資源ごみ)	40 t/5h	H2.3	東広島市黒瀬町国近10427番地24	S	3,651.55
	賀茂環境センター (ペットボトル・プラスチック製容器包装)	22 t/5h	H18.6	東広島市黒瀬町国近10427番地24	S	2,395.05
	賀茂環境センター (最終処分場2工区)	埋立容量 195,000m ³	H18埋立開始	東広島市黒瀬町国近10427番地24	S	725.91
	竹原安芸津最終処分場	埋立容量 150,000m ³	H7埋立開始	東広島市安芸津町木谷11620番地1	S	759.44
し尿 処理 施設	広島中央エコパーク	300 kL/日	R3.9	東広島市西条町上三永10759番地2	RC、S	5,847.38
	賀茂環境衛生センター	210 kL/日	S60.9	東広島市西条町上三永10766番地1	RC	12,307.84※
	安芸津クリーンセンター	21 kL/日	H2.3	東広島市安芸津町木谷5676番地	RC	846.53
	竹原クリーンセンター	50 kL/日	S62.3	竹原市福田町3891番地1	SRC	1,366.20
	大崎上島クリーンセンター	14 kL/日	H8.3	豊田郡大崎上島町明石869番地	RC	1,263.84
附属	賀茂環境衛生センター多目的広場	-	H18	東広島市西条町上三永10766番地4	S	1,202.31

※ごみ処理施設とし尿処理施設の面積の合計

(2) 有形固定資産減価償却率の推移 (全体)

年度	有形固定資産減価償却率
H27年度	76.7%
H28年度	79.6%
H29年度	82.3%
H30年度	84.8%
R1年度	86.9%

(3) 施設の課題

当組合の処理施設について、建築後いずれの施設も30年近く、若しくは30年以上経過しており、これまで大規模修繕や定期的な修繕を行ってきました。しかし、いずれの施設も老朽化により、今後更新時期を迎えることや最終処分場がいずれ満杯になることが推測されることから、既存6施設（賀茂環境衛生センター【焼却、し尿】、竹原安芸津環境センター、大崎上島環境センター、安芸津クリーンセンター、竹原クリーンセンター）を統廃合し、最終処分場を必要としない広島中央エコパークを整備しました。

継続稼働する賀茂環境センター・大崎上島クリーンセンターの2施設については、今後必要に応じて大規模修繕を検討する必要があります。

8 中長期的な公共施設等の管理に関する基本方針

(1) 公共施設等の統廃合

既存の施設の老朽化に伴い、次のとおり施設の統廃合及び統廃合後の処分について定めます。

区分	現状	施設統廃合	統廃合後の処分	処分期間
ごみ処理施設	賀茂環境衛生センター	広島中央エコパーク (統合)	用途廃止後、施設解体 もしくは、施設所在市へ 財産譲渡	R4~R12
	竹原安芸津環境センター			
	大崎上島環境センター	焼却施設は広島中央 エコパーク (統合)	既存施設は解体	R3~R4
		ごみ中継施設及び ストックヤード (更新)	中継施設とストックヤード を敷地内に建設	
	賀茂環境センター (もやせない粗大・資源ごみ)	継続		
	賀茂環境センター (ペットボトル・プラスチック製容器包装)			
	賀茂環境センター(最終処分場)	継続		
	竹原安芸津最終処分場			
し尿処理施設	賀茂環境衛生センター	広島中央エコパーク (統合)	用途廃止後、施設解体 もしくは、施設所在市へ 財産譲渡	R4~R12
	安芸津クリーンセンター			
	竹原クリーンセンター			
	大崎上島クリーンセンター	継続		
附属	賀茂環境衛生センター多目的広場	継続	検討中	検討中

(2) 起債償還見込み

名称	借入額	令和3年度以降の償還額
賀茂環境センター	214,400千円	19,245,451円
竹原安芸津環境センター	313,200千円	71,364,514円
広島中央エコパーク	16,528,100千円	16,470,887,105円
災害復旧事業	19,500千円	19,500,000円

(3) 公共施設等の維持管理・更新に係る中長期的な経費の見込み

廃棄物処理施設としての機能の維持及び安全等を確保していくためには、今後の維持管理及び更新等を含め、個別施設計画の策定を通じて保全の対象となる機器を把握し、予防保全の必要性を考慮しながら、中長期的な維持管理及び更新等のコストを推定し、必要な予算の確保を行う必要があります。各施設の維持管理費の推計は以下のとおりです。

(単位：百万円)

区分	名称	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	R 8	R 9	R10	R11	R12
ごみ処理施設	広島中央エコパーク(DBO)	236	532	514	615	550	635	497	635	536	636
	賀茂環境衛生センター	664	68	565	1,636	45	4	4	4	4	4
	竹原安芸津環境センター	118	20	20	20	20	20	20	20	20	543
	大崎上島環境センター(焼却)	67	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	大崎上島環境センター(中継)	316	111	111	90	90	90	90	90	90	90
	大崎上島環境センター(ストックヤード)	177	274	601	48	48	48	48	48	48	48
	賀茂環境センター(もやせない粗大・資源ごみ)	284	361	381	381	381	381	381	381	381	381
	賀茂環境センター(ペットボトル・プラスチック製容器包装)	130	132	132	132	132	132	132	132	132	132
	賀茂環境センター(最終処分場2工区)	70	69	69	69	69	69	69	69	69	69
	竹原安芸津最終処分場	105	53	53	53	53	53	53	53	53	53
し尿処理施設	広島中央エコパーク(直営)	123	272	277	283	298	285	282	295	286	348
	賀茂環境衛生センター	137	※R4年度以降はごみ処理施設に含む								
	安芸津クリーンセンター	61	2	2	2	2	2	2	2	2	314
	竹原クリーンセンター	66	1	1	1	1	1	1	1	1	330
	大崎上島クリーンセンター	100	100	100	71	71	71	71	71	71	71
附属	賀茂環境衛生センター多目的広場	49	28	28	28	28	15	15	15	12	12
計		2,703	2,023	2,854	3,429	1,788	1,806	1,665	1,816	1,705	3,031

(4) 公共施設等の管理に関する実施計画

①点検診断等の実施方針

施設の日常点検については、運転管理業務等の担当職員もしくは受託者が実施します。

また、定期的な点検として、毎年又は必要に応じた頻度での設備保守点検を実施しています。

以上の点検診断等の履歴を集積・蓄積し、個別施設計画への反映及び維持管理・修繕等の計画に活かします。

業務委託等の確認には職員の技術力及び人材の確保が不可欠であるため、職場研修等による人材育成を図っていきます。

②長寿命化の実施方針

広島中央エコパーク、賀茂環境センター、竹原安芸津最終処分場、大崎上島環境センター（中継施設・ストックヤード）、大崎上島クリーンセンター、賀茂環境衛生センター多目的広場について、本計画策定後、「廃棄物処理施設長寿命化総合計画作成の手引き」（平成22年環境省）又は「一般廃棄物処理施設機器別管理基準等検討調査委託業務報告書」（平成23年環境省）等を参考とした「個別施設計画」を策定し、予防修繕等を含めた維持管理及び耐震化により、長寿命化を実施していきます。

9 計画の推進方法

(1) 総合的かつ計画的な管理を実現するための体制の構築方針

本計画を推進するに当たっては、施設マネジメント統括者（事務局長）、施設担当職員及び施設運転管理委託業者等と連携体制を構築しながら、総合的な視点で取り組みを進めていきます。

また、個々の職員が行動計画の意義を十分理解し、社会経済情勢や組合管内の住民のニーズなどの変化を的確にとらえ、既存施設をいかに効率的・効果的に活用できるかといった創意工夫の意識を持てるよう、また目的意識を持って行動できるよう、啓発と意識改革に努めます。

さらに計画を推進していくためには、技術的な検証が必要であり、専門技術を有する職員を継続的に養成し、技術的手法や管理水準の見直しを的確に実施できる体制を整えていく必要があります。

(2) フォローアップの実施方針

本計画を確実に実行するために、PDCAサイクルを活用し、今後の構成市町の財政状況、社会情勢及び地域環境等の変化や計画の進捗状況を踏まえて、確認・検証して、適切にマネジメントを行います。

また、本計画の実効性を高めるため、個別施設計画により施設の維持管理、補修、大規模改修及び更新等を行っていく具体的な計画について定めるものとします。

本計画は、構成市町住民と情報・問題意識を共有するため、組合ホームページ等により情報提供を行い、開かれた広域行政を目指すものとします。